

## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月2日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 ウッドワン

コード番号 7898 URL <http://www.woodone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中本 祐昌

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 藤田 守

TEL 0829-32-3333

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	30,356	△5.5	1,645	2.9	358	△59.3	260	△59.5
24年3月期第2四半期	32,132	3.9	1,598	54.4	880	△5.0	642	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △900百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △587百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	5.58	—
24年3月期第2四半期	13.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	91,978	30,153	31.4
24年3月期	94,343	31,226	31.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 28,924百万円 24年3月期 29,857百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	3.75	—	3.75	7.50
25年3月期	—	3.75	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.75	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,300	0.8	3,600	6.0	1,700	△14.1	900	△62.7	19.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	49,209,846 株	24年3月期	49,209,846 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	2,545,457 株	24年3月期	2,544,556 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	46,664,838 株	24年3月期2Q	46,667,731 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、12月上旬に説明会を開催する予定です。開催後、決算補足説明資料を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の緩やかな復興需要や公共投資の増加等に加え、個人消費においても、復興需要に伴う消費マインドの回復などの兆しが見受けられました。しかし、欧州債務問題等を背景とした海外景気の下振れに加え、円高や株安の進行など依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

住宅業界におきましては、復興支援・住宅エコポイント制度やフラット35Sエコの金利優遇、住宅ローン減税などの住宅取得支援策に加え、東日本大震災の復興需要等があったものの、新設住宅着工戸数の回復はやや鈍化する傾向にありました。

当社グループは、将来の人口・世帯数減少による新設住宅着工戸数の減少を見据え、『新しい商品・新しい発想・新しい提案での新しい顧客開拓と需要創造』を抜本的営業革新の基本方針に掲げ、森林認証(※)を取得しているニュージーランドの森林資源を活用したピノアースシリーズを中心に、新築市場の拡販に加えてリフォーム市場の開拓を目指しています。

木質建材では、「ピノアースシリーズ」や同シリーズからデザインを新たに厳選し、求めやすい価格とした新製品群「ナチュラルセレクション」などのFSC認証製品、ソフトアートシリーズの「シンプルセレクション」、認証基材を使用した環境配慮型のフローリングなどの売り上げが伸びました。また、リフォーム用として無垢フローリング「ピノアース6mm厚タイプ」、内窓で国内初のFSC認証製品である無垢の木製内窓「MOKUサッシ」、断熱改修を手軽に実現可能とするリフォーム用断熱改修パネル「あったかべ」など、エコリフォーム商品の拡販にも努め、9月には簡単に無垢材の素材感が味わえる無垢カーペット「ぴたゆか」を発売しました。

ソフトアートシリーズには、存在感あふれる立体的なクラフトデザインで個性的な空間づくりを提案する「Cタイプ」やワンプライスで選べる「シンプルセレクション」の新デザインを投入しました。また、内装床材では、厚貼りフローリングの手作り工芸調床材コンビットクラフトシリーズなどを発売しました。

さらに、地域工務店の「長期優良住宅」の認定取得サポート及び、平成24年度創設の国交省補助事業「地域型住宅ブランド化事業」における各地域事業グループの申請支援、「住宅のゼロ・エネルギー化推進事業」におけるエネルギー消費削減量算出等の申請支援を行うと共に、既存住宅の改修においても長寿命化に向けた性能向上リフォームのサポートシステムの構築などを行い、地域工務店等への支援を進めてきました。

住宅設備機器では、木質建材とトータルコーディネートできることで好評なシステムキッチン「スージー」の無垢の扉にオークとメープルの樹種を加えて、より幅広いインテリアイメージとのコーディネートが可能にしました。

当社グループは、このような施策を行い、昨年まで連結対象であった米国子会社の譲渡による売上減少や販売価格の下落の影響がありましたが、新規顧客の開拓や販売数量の増加により売上高増強を図ると共に、コスト削減に取り組みました。

この結果、連結売上高は、30,356百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益1,645百万円（前年同期比2.9%増）となりました。なお、営業外費用にはニュージーランド子会社の外貨建借入金の為替評価差損240百万円を含めて為替差損677百万円計上したこともあり、経常利益358百万円（前年同期比59.3%減）、四半期純利益260百万円（前年同期比59.5%減）となりました。

(※) 国際的な審査機関FSC®（森林管理協議会）のFM認証（森林管理認証）とCoC認証（加工・流通過程の管理認証）の総称/ライセンスNo.FSC-C043904

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間における連結財政状態は、前連結会計年度に比べ、資産が2,364百万円減少、負債が1,292百万円減少、純資産が1,072百万円減少しました。主な内訳として、資産は、現金及び預金が1,068百万円減少、有形固定資産1,922百万円減少、たな卸資産749百万円増加によるものです。負債は、有利子負債が855百万円減少したもので、内訳は短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が8,676百万円増加、長期借入金9,532百万円減少によるものです。純資産は、繰延ヘッジ損益が154百万円減少、為替換算調整勘定が806百万円減少、少数株主持分が144百万円減少したものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、平成24年5月11日に発表した業績予想を修正しておりません。なお、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の摘要

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しています。これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,835	3,766
受取手形及び売掛金	8,355	8,609
商品及び製品	5,219	5,844
仕掛品	2,314	2,088
原材料及び貯蔵品	7,649	7,998
繰延税金資産	426	458
その他	682	654
貸倒引当金	△20	△24
流動資産合計	29,462	29,397
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,246	8,848
機械装置及び運搬具（純額）	8,160	7,506
土地	11,067	11,001
立木	20,816	20,142
その他（純額）	2,069	1,938
有形固定資産合計	51,359	49,437
無形固定資産	584	478
投資その他の資産	12,937	12,664
固定資産合計	64,880	62,580
資産合計	94,343	91,978
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,261	5,082
短期借入金	19,350	28,027
1年内償還予定の社債	3,000	3,000
未払法人税等	438	90
引当金	367	397
為替予約	877	1,449
その他	2,899	2,751
流動負債合計	32,194	40,799
固定負債		
長期借入金	27,022	17,490
繰延税金負債	2,034	1,841
引当金	1,258	1,216
その他	606	476
固定負債合計	30,922	21,025
負債合計	63,116	61,824

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,815	7,815
利益剰余金	16,965	17,048
自己株式	△2,131	△2,131
株主資本合計	29,974	30,056
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△105	△160
繰延ヘッジ損益	△1,071	△1,225
為替換算調整勘定	1,060	253
その他の包括利益累計額合計	△116	△1,132
新株予約権	229	234
少数株主持分	1,139	994
純資産合計	31,226	30,153
負債純資産合計	94,343	91,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	32,132	30,356
売上原価	21,634	20,015
売上総利益	10,497	10,341
販売費及び一般管理費	8,899	8,696
営業利益	1,598	1,645
営業外収益		
受取利息	8	12
受取配当金	20	22
受取賃貸料	90	78
その他	138	124
営業外収益合計	257	237
営業外費用		
支払利息	464	382
売上割引	225	225
為替差損	21	677
その他	263	238
営業外費用合計	974	1,524
経常利益	880	358
特別利益		
固定資産売却益	13	7
子会社株式売却益	526	—
その他	1	0
特別利益合計	542	7
特別損失		
固定資産売却損	0	9
固定資産除却損	9	4
為替差損	553	—
投資有価証券評価損	1	51
事業再編損	110	—
その他	13	11
特別損失合計	689	76
税金等調整前四半期純利益	734	289
法人税、住民税及び事業税	63	61
法人税等調整額	19	△27
法人税等合計	82	34
少数株主損益調整前四半期純利益	651	255
少数株主利益又は少数株主損失(△)	9	△4
四半期純利益	642	260

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	651	255
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	△54
繰延ヘッジ損益	△491	△177
為替換算調整勘定	△684	△922
その他の包括利益合計	△1,238	△1,155
四半期包括利益	△587	△900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△345	△755
少数株主に係る四半期包括利益	△241	△144

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

平成24年10月29日に未決済為替予約取引の一部を解約しました。その結果、当該解約した未決済為替予約分の前期戻入益298百万円を営業外損益に、未決済為替予約解約損269百万円を特別損失に計上する予定であり、税金等調整前当期純利益に与える影響は28百万円増加の見込みです。